

令和4年度

事務事業評価表（令和3年度の実績評価）

記入年月日 令和4年4月1日

事務事業名		笠間西茨城森林組合助成事業					事業区分		担当	
政策体系	政策体系上の位置付け						新規/継続	単独/補助	継続	単独
	総合計画の施策名		0401 農林業の振興				事務事業No.		040105000796	
	政策名		04 活力ある産業のまちづくり				所属課		050101 農林課	
	施策名		01 農林業の振興				課長名			
	手段名		05 ⑤森林（里山）の保全と魅力づくり				グループ		農林G	
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計 林業総務事業		
		01	06	02	01	02	00	単年度繰返し（年度～） 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入		
法令根拠		桜川市補助金等交付規則								

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

(1) 事務事業の概要										
手段	① 事務事業の概要（事務事業の全体像）					② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	桜川市、笠間市、城里町の3市町の森林の整備を実施している笠間広域森林組合の経営基盤の拡充と組織の強化に努め、森林所有者の経済的地位の向上、並びに桜川市の林業の発展に寄与するため、補助金を交付する。					補助金交付申請受理→審査後交付決定及び補助金の振り込み→実績報告受理				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
① 手段（担当者の活動内容）		④ 活動指標（活動量を表す指標）			単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
補助金交付申請受理→審査後交付決定及び 補助金の振り込み→実績報告受理		補助対象団体数			団体	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象（誰、何を対象にしているのか）		⑤ 対象指標（対象の大きさを表す指標）			単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
笠間広域森林組合		専従職員数			人	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図（この事業によって対象をどう変えるのか）		⑥ 成果指標（対象における意図の達成度を表す指標）			単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
経営基盤の拡充と組織の強化		組合の総事業費における桜川市の割合			%	33.00	33.00	33.00	33.00	33.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移		02年度 (実績)		03年度 (実績)		04年度 (計画)		05年度 (目標)		06年度 (目標)		期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0						
		県支出金	千円	0	0	0						
		地方債	千円	0	0	0						
		使用料・手数料	千円	0	0	0						
		その他	千円	0	0	0						
		一般財源	千円	660	660	660						
		事業費計(A)	千円	660	660	660						
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人							

03年度事業費 実績（千円）					04年度事業費 予算（千円）					
事業費の内訳	18 負担金補助及び交付金	660								
	合計				660					合計

事務事業名	笠間西茨城森林組合助成事業	事務事業No.	40105000796	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
近年、林業の低迷、後継者不足による森林の荒廃が進み、所有者のみでは管理しきれないといった実情があり、そうした状況を打開し、林業の発展を図るため森林組合への補助金交付事業を開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 森林組合の組織強化が林業の基盤を安定させ、ひいては森林所有者の利益確保や森林の荒廃を防ぐことにつながる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 森林環境の健全化に専門的な知識を有する森林組合の存在は欠かせない。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 現在、林業を取り巻く状況は厳しいが、森林組合で森林教育や間伐事業等、積極的な事業を実施しており、林業発展に尽力している。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 組合の経営基盤の弱体化を引き起こし、市内林業全体に影響を及ぼすと思われる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 現時点で必要最小限の事務時間で行っている。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 笠間広域森林組合は、市内全域において森林整備を行っている唯一の担い手である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	補助金交付事業として適正な内容だと思われるが、交付額については今後検討していく必要がある。																		
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 今後の事業の方向性																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持	○			低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成果	向上維持	○																		
	低下																			
		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>